

空き家調査アプリの実証実験

1. 実証実験に至るまでの経緯

川西市では、柔軟な発想と優れた技術を持つスタートアップ企業と市職員が協働して、地域・社会課題の解決をめざすプロジェクト「Urban Innovation KAWANISHI」を実施し、住宅政策課は、次のテーマで参加しました。

＜取り組みテーマ＞

「官民連携で空き家のデータベースを構築・活用し、今までにない空き家の流通基盤をつくりたい！」

2. 実証実験の概要

＜実証実験の内容＞

(1) 目的

空き家調査アプリ及びデータベースを官民協働で開発

(2) 実施期間

令和2年12月から令和3年3月まで（約4か月間）

(3) 協働企業

株式会社ユニフィニティ（東京都）

＜現地調査の状況＞

(1) 実施方法

スマートフォンにダウンロードしたアプリを用いて、現地実験を3回実施
空き家に見立てた公共施設を対象に現地調査。使いやすさなどを確かめました。

(2) 空き家調査アプリの機能

空き家の状況入力（設問回答方式）、写真撮影、地図位置情報取得

(3) 実験協力者

空き家対策ナビゲーター、
NPO 法人兵庫空き家相談センター（現名称は NPO 法人空き家相談センター）

＜実証実験の成果＞

実証実験の結果、次のことが確認できました。

(1) 調査用具の削減

空き家調査アプリを使うことで、スマートフォンを持参していれば、現地で調査が可能になるため、調査のために持参する用具が削減できました。

(2) 作業時間の短縮化

調査結果は、現場からデータベースに簡単に送信できるので、プロセスが省力化され、作業時間が大幅に短縮化できました。（3日→約5分に短縮）

(3) 高い操作性

実験参加者に対するアンケートで、「アプリの使いやすさ」について質問したところ、「良い」と回答した人の割合が88%でした。

3. 取材・報道の状況

川西市が取り組む「空き家対策」について、取材・報道がありました。

○神戸新聞(阪神版) 令和3年2月22日

「アーバンイノベーション川西」の取り組みが報道されました。

○NHK 神戸放送局 令和3年3月16日

「空き家調査の実証実験」の様子が報道されました。

○株式会社ウチコミ 令和3年9月24日

WEB マガジン「ウチコミ！タイムズ」で「空き家調査アプリ」の取り組みが報道されました。「全国初 空き家調査アプリ『空き家しらべーたー』 兵庫県川西市の革新的な取り組みとは」

WEB マガジン「ウチコミ！タイムズ」 (外部リンク)

<https://uchicomi.com/uchicomi-times/category/topix/main/14540/>

○鹿児島市議会(建設消防委員会) 令和4年3月23日

鹿児島市議会政務調査レポート (No. 26) の中で、「空き家調査アプリ」の取り組みが先進事例として取り上げられるとともに、鹿児島市議会のホームページに掲載されました。